

郷の集い

行 A 会
 P T 員 者
 校 委 任 者
 級 責 任 者
 編 集 久 刷
 山 崎 印 刷
 久 野 印 刷

団結こそ力なり

学校長 矢尾 昭三

卒業生ならびにご父兄の皆さん、ご卒業おめでとうございます。

十六名の皆さんを送るに当り、新体育館建築の鉦音が高らかに響くこの陰に、新郷小学校が、このような立派な姿で存続するまでには、幾多の苦難の道があったことを知って頂きたいと思ひます。

明治二十四年、現在の地に新しく新郷小学校を設立して以来九十余年、時には廃校の浮目に幾たびか立たされてきました。

昭和二十七年中央校舎が危険校舎になり、いよいよ使用出来ないという事で改築を村当局に要求することになりました。ところが、

村当局は、財政上、政策上の理由で賛成、反対一票の差で、新郷小学校廃校、本荘小学校へ統合が、村議会で議決されました。

日頃教育の殿堂として、

文化の中心として、校下住民の心のよりどころとして、地域の進展と共に歩んできた新郷小学校を、そう簡単に廃校にされてはたまりません。校下民の存続に対する熱意はいたって旺盛です。

村議会の住民の切なる願いを無視した、この暴挙に、強い怒りと憤りを感じ、校下全住民が大同団結し、村当局に筵旗を立てて決議廃案を迫ったのです。

さすがの村当局も、校下住民の強い団結、固い決意、学校を守ろうとする血の叫びを無視することが出来ません。終に決議留保と改めさせ、翌二十八年三月、中央校舎改築の運びとなりました。

また、児童数減少という決定的な打撃を受けました。それは、昭和三十年三月三十日町村合併により、芦原町新郷小学校と改称され、同年八月十九日、西今市、

尾 昭三

竹松、藤沢、玉ノ江四区の児童六十八名が三国南小学校へ転校していった事です。

児童数減少という最悪の状態に追い込まれ、学校規模の適正化が問題となった中で、昭和四十八年芦原町総合振興計画が打ち出されました。特に教育面では、町内にある五小学校(新郷本荘、芦原、北潟、波松)を三小学校(本荘、芦原、北潟)に統合し、校舎を

全面的に鉄筋化する計画が打ち出されました。すなわち「一中三小」の指向が明らかにされたのです。

町は、この計画実現を図るため集中的に、地域住民との話し合いを進めました。しかし、ここでも校下住民

の強い団結と、学校存続への熱い願望の壁にはばまれ、町当局は現状維持が教育の本旨にかなうものであるという結論に達し、統合問題に終止符を打つことになっ

たのです。

しかし、老朽化した、新郷小学校を何とか鉄筋化しようとする、校下住民の強い熱望は、ついに、昭和五十二年八月、新郷小学校改築促進期成同盟会の誕生となり、同年九月新郷地区耕地基盤整備事業の一環として、全戸より校地の提供を合意し、七千三百平方メートルの尊い田地を、校舎建築用として、確保するにいたりしました。

以来五ヶ年、同盟会々長さん、町会議員さん、歴代PTA会長さん、各区の区長さん方を中心とする、校下全住民の方々の心血を注いだ努力が、昭和五十七年八月十三日、新郷小学校体育館起工式となって実を結び、昭和五十八年度校舎建築を町当局と確約するまでにいたりしました。

このような長い歴史の中で、数多くの方々の努力とこれら先人、先輩達が見せて下さった「団結こそ力なり」という教訓を、卒業される皆さんは、いつまでも

忘れないでほしいのです。皆さんの背後には、こんなすばらしい校下があり、両親がおられるのだという事を心に秘めて、新郷小学校の名に恥じない、立派な中学生になって下さる事を心より祈っています。最後に校下の皆さん、昭

和五十八年度は、新郷小学校の将来にかかわる校舎建築の大切な年です。校下百年の大計に立って悔のない

心のつながりを大切に

PTA会長 新郷 法夫

六年生の皆さん、卒業おめでとう。学校で学ぶという年数においては、一番長い六年という年月を、雨の日も風の日も雪の日も耐え先生の教えを守り一生懸命勉強し無事終えられました。皆さんは、六年前入学された時はほんとうに何も知りませんでした。新しい洋服、新しいカバンを背負い胸はずませて、お父さんお母さんと学校へ来られた時の事覚えていますか。その時はまだ算数も知らなければ漢字も読めなかったでしょう。それが六年の間学んでいく中に数字の計算も字の読み書きも随分出来る様になり世の中の事も大分理解出来る様に立派に成長されました。この事は皆さんの努力と、それ以上であれやこれやと手を取って教えて下さった先生方の御指導のおかげです。又、お父さんお母さん家族皆さんの深い愛情に支えられていたおかげです。どうか皆さん、この事を忘れずに中学校へ行かれても大いに頑張っ

て下さい。卒業されても校長先生を始め諸先生方は、いつまでも皆さんの行方を見守っていて下さいます。時々先生方をおたずねし、中学校生活等報告して下さい。困った時、苦しい時、うれしい時、母校の先生方は皆さんのよき相談相手となつて下さいます。今まで友達と仲良く一緒に勉強して来ましたが、中学校では一緒に出来ないかも知れません。もし友達の中で、だれかにすまない事をしたなと思う事があったら、お互いに許し合つて、さっぱりとした気持ちで中学校へ進んで下さい。そこから又新しい友情が生まれ中学生活が更に楽しいものになるでしょうから。

どこかで先生方や友達と会った時は必ずあいさつを交わして下さい。そしていつまでも心のつながりを大切に持っていてこの六年間の事を忘れないで下さい。



思い出を胸に
ファイナール



青木美穂

私は、六年間で一番心に残っている事は、郡の陸上記録会に出場したことである。出来たばかりの三國運動公園で、精いっぱいゴールまで、むがむちゅうで走った。それが、昨日の様に感じ、今でも、はっきりと目に浮かぶようだ。

母 悦子

早くも私の子供が卒業を迎えることになり、大きく成長した我が子を見て、私、親として喜んでおります。これもこの八年間、諸先生方の御指導のたまものと思ひ心より厚くお礼申し上げます。

この程素晴らしい体育館も完成し卒業式を迎える事を子供共々喜んでおります。新たな希望を持って中学校へ入学後他の学校の生徒に圧倒されない強く立派に育ってほしいと願います。今後、先生方各関係者皆様の御活躍と御健康を心よりお祈り申し上げます。



伊藤和美

新郷の六年生は、水泳はいいほうだが、陸上はぜんぜんだめだ。だから「カップ学級」という名前を付け

「カップ学級」だけでなくまだある。六年生の顔を見ると、みんな出来そうな顔をしているが、出来ない。だから「見せかけ学級」と言われている。

母 千枝子

早いものです。まだまだと思っていた子供の卒業もあと一週間たらずとなりました。私にとっては、これで二度目で最後の卒業です。この六年間随分成長しました。中学校に入ってから、勉強をしっかりと欲しいと思ひます。その他多くの友達の中で、自分の心をよくみつめ、明るく元気で立派な良い子に育って欲しいと願って居ります。先生方には長い間お世話になりました

有り難うございました

卒業生の言葉
わが子へ贈る



大久保真由美

私のほこりは、幼稚園、小学校八年間を通して、学校を一日も休まなかつた事です。

強い体で育ててくれた両親はじめ、毎日学習や楽しい学校生活を送らせてくださった先生方のおかげです。ありがとうございます。中学生になっても学習にはげみ、強い体をつくり、正しい心を持ち続けたいと思ひます。

父 皓市

「暗中模索」の言葉通り二人目の子育てと言うのに毎日毎日が手探りの状態の中から時には、いや、いつもだったかも知れない「自分を棚に上げ」子供に物申して来た自分である。

又、子供のためと言う言葉にすり換えて自分を正当化して来たかも知れない。けれども「躰は家庭から」をモットーに今日まで来たつもりだ。そんな生活体験の数々の中で今思うと、もう少しその時々子供を正しく褒めてやる心の余裕があつたらと悔やまれもするが、無事卒業式を迎えられた今、学校当局に対し感謝の念でいっぱいです。



小嶋裕子

私が、新郷地区ではないちがう地区で生まれ育っていたら、今の私はありません。小さい学校という事で、いろいろ都合な点があつたが、私達は、他の学校では学べないようなことを学んできた。

中学へ行っても、新郷出身というのを悲観したりしないで、むしろほこりに思ひ、新郷の名にはじないように頑張っていきたいと思ひます。

父 俊成

ある日、真っ黒に日焼けして、フットベースボールの練習から帰った娘が、「お父さん、左足が痛い」と言つた。早速病院で診てもらつた所骨折との事、通院しながら毎日午前中は水泳、午後はフットベースボールと、痛い足を庇いながら、練習に励んでいる娘の姿を見て、本当に目頭が熱くなり親として、このまま練習を続けさせるべきか一時は随分迷いました。でも三年連続優勝を夢見て、頑張

てい姿を見て、何事も力で行う事を教えられなかった。夢は達成出来なかったけれども優勝より価値ある思い出となつた事でしょう。



川越光枝

私達六年生が中心になつた秋季運動会。当日の二、三週間ぐらい前から、かえ歌、おき物などを中ノ浜の公民館で作つていた。

しんけんさがなければ出来ない事だ。一日も欠かさず中ノ浜に通つていた。その努力と白組の力で、白組が優勝した。私は、ここでチームワークという事を学び取つた。

母 友枝

六年前の四月一日、入学式の時、喜びにあふれた我が子の小さな手を引いて学校の体育館に入ると、我が子が小さな目を、大きくひろげ、はしゃぎ回つた頃が、昨日のように心に焼きついていきます。今では私に負けないくらいに体成長し、又小学生最後のクラス委員に選ばれて活躍しているのを見ると、今更ながら顔を見直すことさえあります。中学生になつてもこの経験をいかし、笑顔を絶えず守り、愛される人間になつてほしいと思ひます。

卒業の想い出を書くに当たって、無事卒業を迎える事が出来ました。想い出せば子供と手をつないで小学校の門をくぐつたのは、ついこの間のよう



吉江由美

もうはや、中学生だ。今までに思つていたことを、思いっきりやりたいと思ひます。

これからは、勉強に、スポーツにはげんで、しっかりやりたい。勉強の方も、みんなにまけないようにしようと思ひます。中学にむかつて、スタートだ。

母 絹子

卒業の想い出を書くに当たって、無事卒業を迎える事が出来ました。想い出せば子供と手をつないで小学校の門をくぐつたのは、ついこの間のよう

に思われます。在校中に教えを受けた事は子供には一生の想い出となることと思ひます。中学校に入つても母校の御恩を忘れぬ明るい子供にしてほしいと願ひ、親としても心を新たに、子供と共に頑張りたいと思ひます。



齊藤 尚代

「ほらほらひさよ、はよし
れま...」また先生の声が...
三年の間何言われたこと
か。泣き虫だし、あまりい
い子でもなかった。今まで、
どうしようもない私だった。
「中学校」今までとはちが
うところだ。どんなにつら
く苦しい時があっても歯を
くいしばり、いじでもそれ
をのりこえようと思う。

母 操

我が子の卒業式が、新体
育館で催されるとのこと。
すばらしい門出になるだろ
う。幸せな子である。
幼稚園児から六年生まで
多彩な先生方のやさしいお
心、又は、時たま落ちる敵
しいお導きによって、子供
なりに、いろんな体験をし
成長してきました。

両親の限らない愛を精一
杯受けて、いま、この新郷
小を古巣にいよいよ、はば
たきはじめる。思ひ出多い
小学生生活を土台に、良き
中学生になってほしいと願
うのは、私だけだろうか。
もう訪れることがないと
思うと、なんとも淋しい気
持ちで一杯である。



高嶋 麻樹

私が今心にのこっている
ことは、やっぱり先生にた
たかれたことや、ばつをう
けたことだ。

それに先生との授業。

わらいながら、おこられ
ながら楽しく勉強をしたこ
とは、中学生になってもわ
すれないだろう。
中学生になっても、いろ
んなことに対して、責任を
もってがんばろう。

母 秀子

私が中ノ浜に来たのは、
麻樹が小学二年生の春でし
た。初めのうちは、お互い
にとまどいましたが、日一
日と心がとけあうようにな
りました。その麻樹が小学
校を卒業、中学校へと進学
月日のたつのは早いもので
す。

新郷小学校の先生方のお
かけを持ち、無事八年間の
小学校生活を送る事が出来
たのも、ひとえに諸先生方
のおかげと心より感謝致し
ております。
芦原中学校へ入学しても
新郷小学校卒業の名に恥じ
ぬよう心がけさせたいと思
います。
本当に長い間ありがとうございました。



田畑 恵子

体育は、大の苦手と言っ
ていい。リズムとかわって
うのは得手の方だが。だか
らといって、体育がきらい
と言うのでもない。大好き
だ。バスケットの時なら、
チームワークが良くてうま
くいった時、みんなが燃え
ている時が好きだ。とびば
こはてんでダメだけど、何
事にもぶつかっていく事が
大切だと思う。

父 利則

長い人生において忘れ去
る事のない数々の想い出を
胸に抱きながら小学生最後
の勉学に励んでいる十六名
の皆さん、卒業おめでとう。
宮川先生を中心に諸先生
方、又PTAの皆様の何不
自由のない御指導と御尽力
の賜ものと深く感謝し御礼
申し上げます。我々住民念
願の夢だった新体育館での
最初のページとなる記念
すべき卒業生として送り出
される事には、さぞや心も
新たかと信じます。皆さん
小さな(ボタモチ)学校の卒
業生でも立派な諸先輩方の
築いた伝統と誇りをもって
何時迄も郷を愛しうる立派
な社会人を目ざして一生懸
命に努力して下さい。



堂島 正弘

一年生から、三年生まで
は、青木先生という尊敬す
る人が担任で、四年生から
六年生まで、宮川先生だっ
た。図画をすれば「もう一
度書き直せ」といわれ、く
やしさに涙をうかべたこと
もあった。学習では「やる
気がない人は、とっとと帰
れ」といわれ、はずかしい
思いをしたこともあった。
こんなことは中学に入っ
たら二度と経験してはいけ
ないと思う。

母 範子

ほんとうに早いもので、
六年前に新郷小学校へ入学
したときには、ランドセル
ばかり大きかった子が卒業
となりました。でも学校と
なると自分から進んで行く
ようになり、毎日休まず行
く子を見て喜んでいました。
むずかしい問題を解き、
漢字を覚え、楽器を演奏し
たこと、発表会などいろいろ
の思い出となって、子供達
の胸に残っていることだと
思います。

最後になりましたが、こ
の六年間大変お世話になっ
たことを深く感謝し、お礼
申し上げます。



山崎 由美子

わたしは、中学生になる
前に、小学校で習うことを
完全に習って中学生になり
たい。勉強も、クラブとい
つしよに出来るか分からな
いけど、いっしょうけんめ
いやりたい。
四年生のときにかわった
宮川先生は、きびしく、とき
には、わたしたちを笑わせ
ることもあってとてもいっ
しょうけんめいおしえてく
れた。

母 節子

月日のたつのは早いもの
で、あとわずかかで長女も卒
業することになりました。
字一つ読めない子を一人一
人手にとる様に教えて下さ
った先生方には感謝に耐え
ません。中学校に入ると今
までと違って大勢の中に混
じって勉強するのですがい
つ迄も新郷校の名に恥じな
い様な態度をとってほしい。
近頃新聞紙上を賑わす青
少年の非行問題を見るにつ
け大人にも大きな責任があ
ると思います。中学生にな
れば環境も変り又悪い誘い
もあるかと思いますが新郷
校で養った強い正義感を発
揮して立派な中学生生活を送
ってほしいと思います。

六年間ほんとうにごくろ
うさまでした。雨の日、風
の日、寒い吹雪の日、つら
い日もあった事と想います。
しかし、つらい思い出より
楽しい心に、ほのぼのと、
心にしみこんだ思い出のほ
うが、はるかに多い事とし
よう。そのすばらしい思い
出をむねの中にいだき、今
度は、新しいくぐりにむか
ってがんばってください。



森 真由美

夏、私達は、雨の日も、
毎日、フットベースボール
の練習をしてきた。八月七
日、かんとくや、父兄、友
達の見守る中で、初めて負
け、くやし涙を流した、私
達。中学生になっても、こ
のことを忘れず、チームワ
ークというものを考え、そ
して、根性をつけたい。

父 穆

年月のたつのは、一つの
くぐりが近くなると、つく
づく早いものと感じてなり
ません。ほんのこの前、ピ
カピカの一年生がなればよ
と声をかけたのが、あと数
日にて、六年間の年月がす
ぎさろうとしています。

六年間ほんとうにごくろ
うさまでした。雨の日、風
の日、寒い吹雪の日、つら
い日もあった事と想います。
しかし、つらい思い出より
楽しい心に、ほのぼのと、
心にしみこんだ思い出のほ
うが、はるかに多い事とし
よう。そのすばらしい思い
出をむねの中にいだき、今
度は、新しいくぐりにむか
ってがんばってください。





齋藤直子

あつという間に六年間が過ぎて、中学生生活が目前にせまっている。これから新しい生活に、希望や喜びを感じる。しかし、これからどんなことがあるのか少し不安でもある。たった十六人の学級から、百七十人余りの仲間に向まくとけこめるか心配だ。

この学校でのいろいろな経験を一つ一つ生かして、しっかりやっていきたい。

父 修二

私が小学校に入学した年に終戦となったが、今ではその頃の印象などあまり残っているものはない。大きな出来事といえば三年生の時のあの福井地震だった。今でも鮮やかに私の脳裡に焼き付いて残っている。それほど私にとって大変なことであった。それは地震の大きさよりも、その被害から立ち上ろうとして働く人の生きる姿を間近に見ていたからかも知れない。過ぎてしまえば懐かしい想い出であるが、恵まれすぎた今日、こんな想い出を持つことができたことを貴重なことだと思ふ。



藤山英徳

六年生。漢字テストや暗記などでこつこつとがんばら

た。毎ばん遅くまで暗記、暗記で寝るひまもなかった。覚えられないと残し。

この六年間は、毎日とてもつらかった。でも、中学では今までの苦労が力になるだろう。

父 勇祐

希望に胸をふくらませて入学したのが昨日のように思えます。無事に卒業を迎えて我が子の姿を見る時に思い出されます。

四月からは中学生です。校長先生始め諸先生の教えをもとに努力される事を希望します。

来る二十一世紀を担うのは皆さんです。将来、高校大学と進まれる方も、就職される方も、豊かな情懷を養い、広い知識を求め人間にならなければなりません。小学校の卒業は、その第一のステップです

最後に校長先生を始め、諸先生の御苦勞を感謝致します。



坪田良尚

この六年間、根性と根気があれば、なにごとにも打ち勝てるのがわかった。

例えば鉄棒が出来ないとすれば、心から、できると思い、失敗しても、もう一度といった気持ちでやれば必ずできるにちがいない。このことを、中学に行っても忘れない。

父 正士

ピカピカのランドセルを小さな肩にかついで入学したと思ったのに、早や六年が過ぎ、無事卒業を迎える事が出来ました。「あ」の字も書けない一年生から今日まで立派な先生方にめぐり会え、色々な事を教えて頂き、また勉強し、今では親以上のすばらしいもの事の考え方、判断、言い方などで、おどろくほどに成長したものだあと感じさせられます。クラスの中では男が少ないので少しさみしかったと思います。でもお互い男女が協力し合い仲良く楽しい日々を過ごせた事

と思います。運動面では男子のスポーツなど少し出来ずに残念なこともありました。でも、初めて芦原町少年サッカー

にはいり、毎日の厳しい練習、雨中のドロコン試合。小さな体でよくやり、今年

はキャプテンになり最後の頑張りも見せてくれました。これからもサッカーで

めた根性を何事にもぶつけて前進してください。そして、中学生になる事を機会に身心ともに大きく責任感の強い人間に成長する事を願望する次第です。最後に六年間諸先生方



吉江真人

大変お世話になり、深く感謝し、お礼申し上げます。

青木先生が、定年になって、新しい先生が発表される時、だれもがあの若い先生だと思っていたにちがいない。だが、大がいだった。思いがけないことにあの、宮川先生になってしまったのだ。あのときのシヨックは今でも覚えているこのことは、この六年間の一番の思い出だと思ふ。

父 眞雄

皆さんは「竹馬の友」と言う言葉を知っていますか。これはどろんこになって遊んだ幼なじみの友達のことを言います。皆さんは、新郷小学校に

く学び、良く遊んで楽しく小学生時代を過ごしました。ここでつちかわれた友情は一生忘れることのない思い出となるでしょう。

何十年か後、皆さんが大人になった時、小学生時代のクラス会を開いてみて下さい。中学、高校、大学生時代の、どのクラス会よりも、何倍もすばらしいクラス会になるでしょう。どんなに出世をしても、いなくても、一人ひとりみんなが楽しく語り合えます。それはすばらしい友達であったことに気づきます。

皆さんは、将来この「竹馬の友」であった小学生時代の友達が、本当になつかしく良い友達だと思ふことがきつと来るでしょう。どうか、いつまでも十六名が仲良くして下さい。

信頼

【担任から】
犬や猫は動物好きの人は見分ける力を持っているようだ。私が飼っている猫も動物好きの主と知ってか、夜ともなるとふとんの中にもぐり込んで来る。そして差し出した腕に前足とあごをのせ安心しきって寝入ってしまう。その姿なんとも可愛いものである。この人ならば、この場所ならば安心出来る。そう思う動物の本能が、この可愛い仕種の源なのだろう。あの人は信頼出来る人だ。私はあの人を信頼しています。等とよく言う。

宮川哲二郎

信頼される人になる。これは、人を信頼する以上にむずかしい事と思ひます。その人の日ごろの言動の一つ一つが積み上げられ、多くの人々に認められて、信頼される人になるのです。一つ一つを大切に生きて行こう。(四・五・六年担任) 住所 芦原町上番五〇―四六

◎一・二・三年担任

青木廣枝先生 芦原町河間十五―十三

編集後記

御さん全員に原稿をお願いしました。写真のいれ方に苦労しましたが、ずい分と読みごたえがあったのではないでしようか。編集委員の方々、一年間どうもご苦労さまでした。(乙)

